






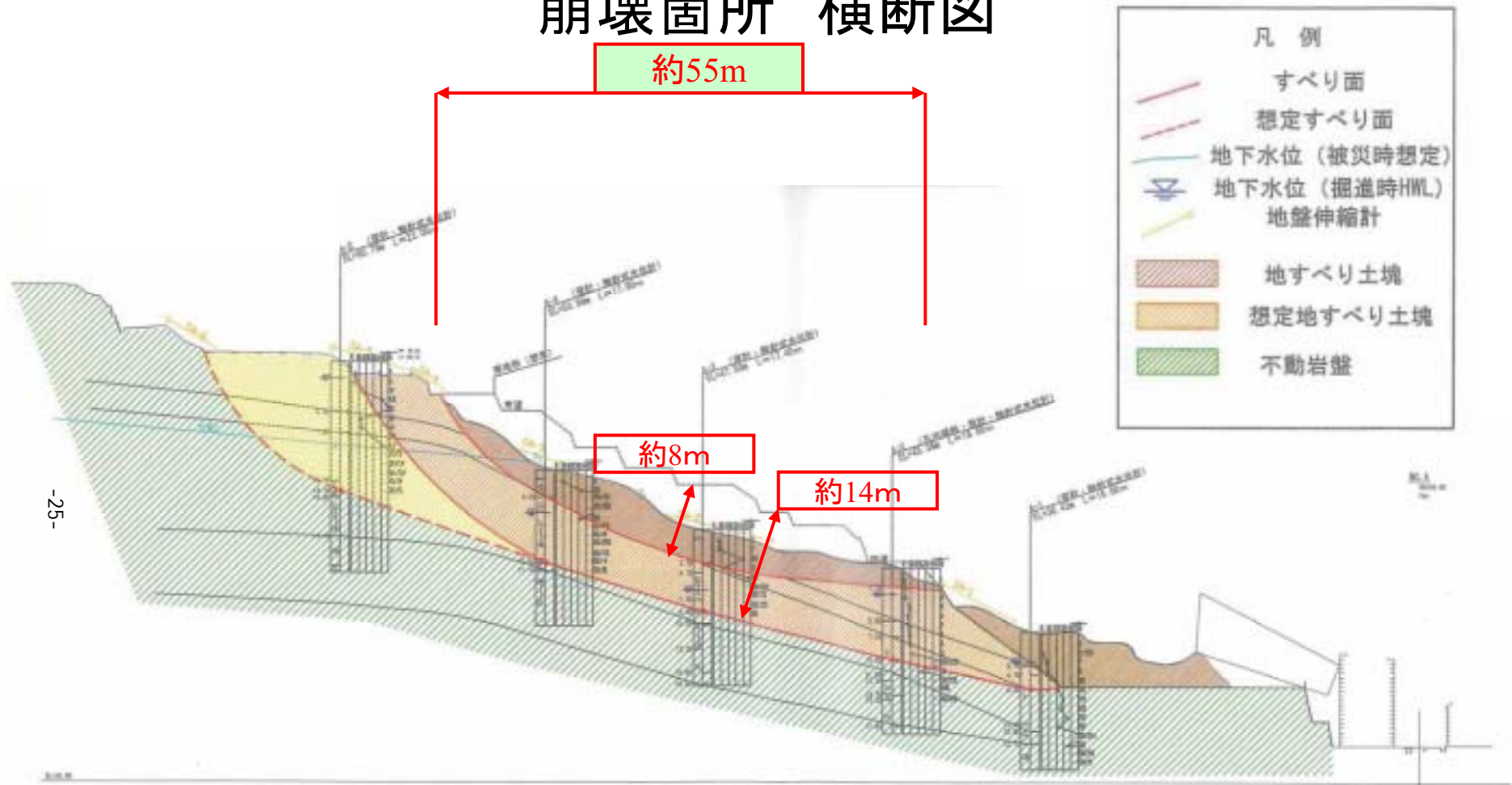
崩壊箇所 平面図

凡 例	
	調査ボーリング
	解析測線
	地盤伸縮計
	ひび割れ・露間
	写真番号及び位置

復旧工事の概要
(府現地説明資料)
【参考資料 6】



崩壊箇所 横断面図



Aブロック調査断面図

1階
 2階
 3階
 4階

応急工事等の内容

【丹後土木事務所】

土質調査として、ボーリング調査11箇所を実施し、ひずみ計、傾斜計により地盤の状況を観測。

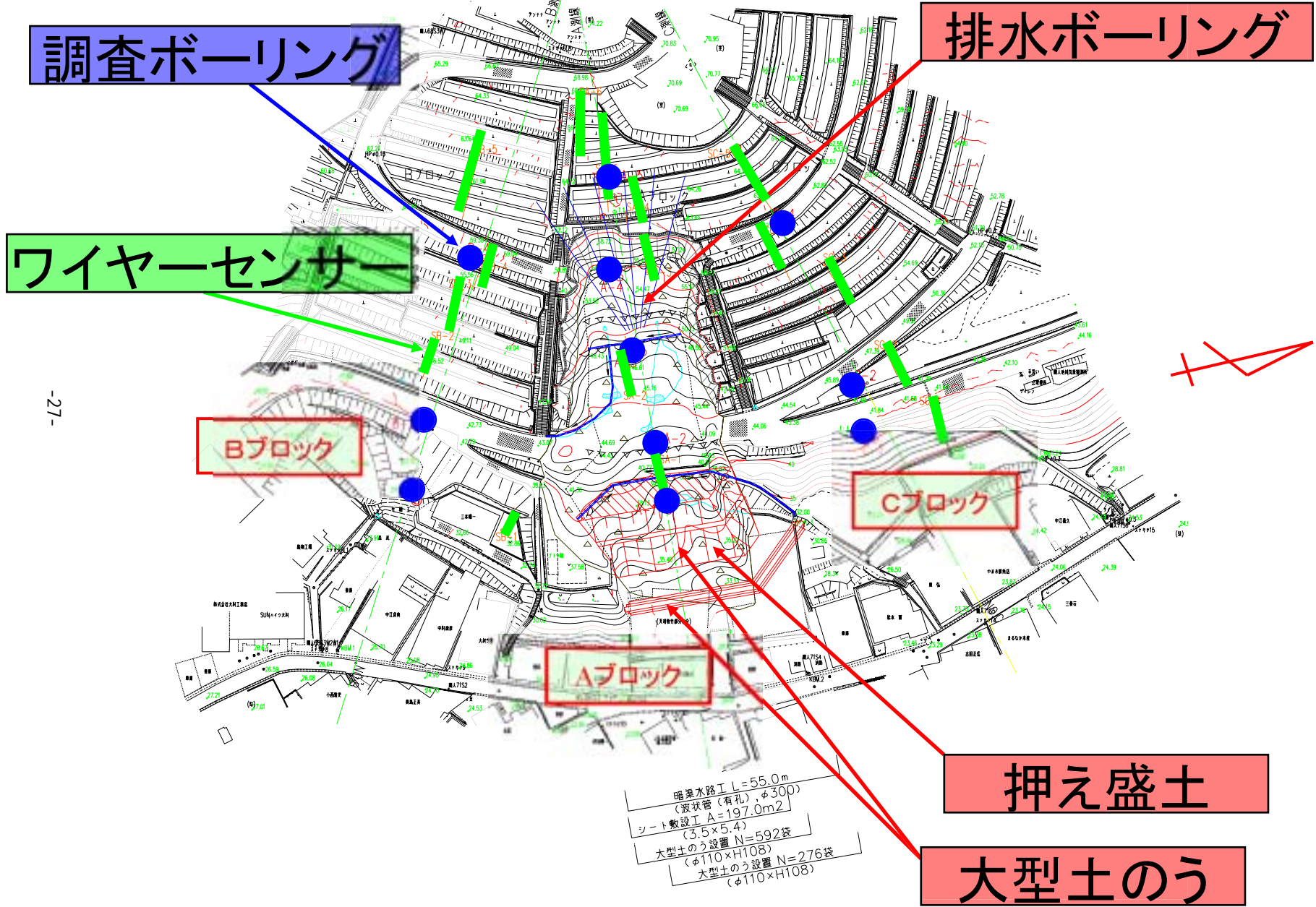
【京丹後市】

①緊急対応として、センサーを16基、赤色灯3基、スピーカー6基設置、避難に備えている。

②測量調査の実施。また、雨水の浸透を防ぐために、ブルーシートの設置、排水溝の修繕を実施。

③緊急対応の実施。排水ボーリング、押え盛土、大型土嚢の設置等を実施。

応急工事平面図



調査ボーリング

排水ボーリング

ワイヤーセンサー

Bブロック

Cブロック

Aブロック

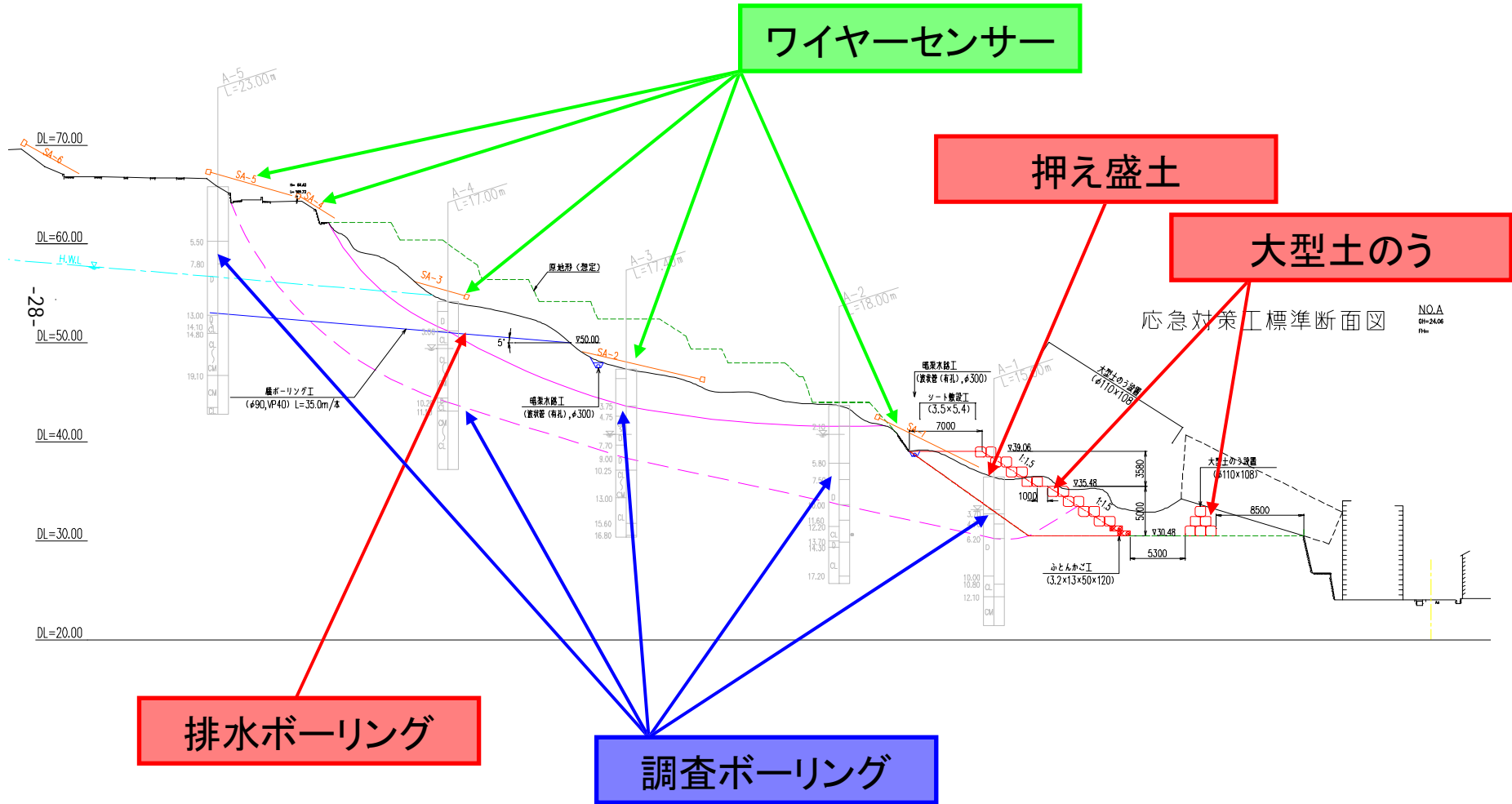
押え盛土

大型土のう

昭業水路工 L=55.0m
 (波状管(有孔) φ300)
 シート敷設工 A=197.0m²
 (3.5×5.4)
 大型土のう設置 N=592袋
 (φ110×H108)
 大型土のう設置 N=276袋
 (φ110×H108)

応急工事横断図

(Aブロック)



対策工事の概要

【丹後土木事務所】

①事業名

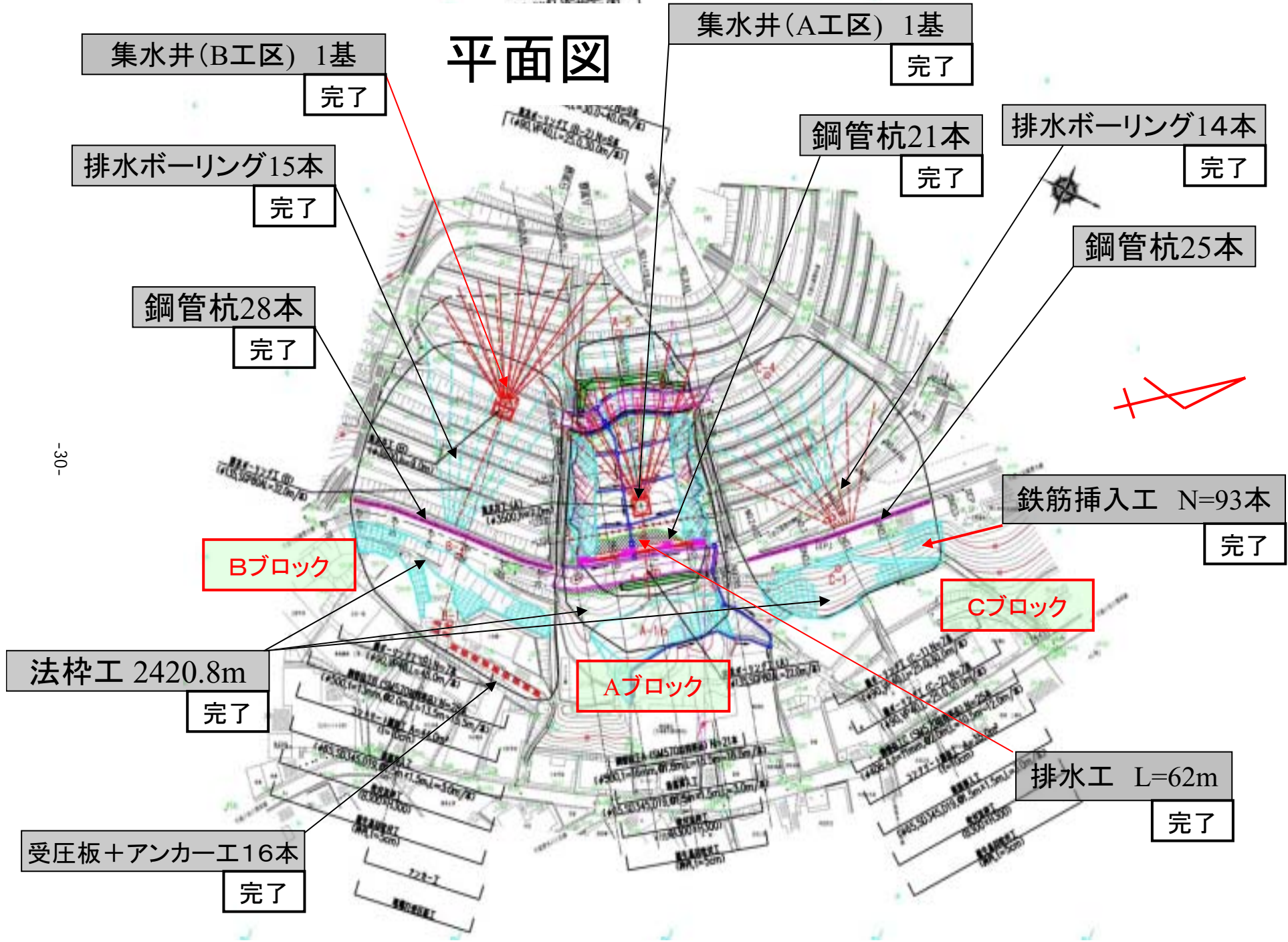
「災害関連緊急地すべり対策事業」 C=382,080千円(補助 1/2)

「単独災害復旧事業(砂防特別)」 C= 35,500千円(単独費)

②対策案の概要

- ・鋼管杭(管径400mm~500mm、杭長15m~18.5m) N=74本
- ・排水ボーリング($\phi 90 \times 25\text{m} \sim 45\text{m}$ / 本) N=29本
- ・法枠工(300×300) (枠長) L=2420.8m
- ・受圧板+アンカー工 N=20本
- ・集水井 N=2基

平面図



標準断面図

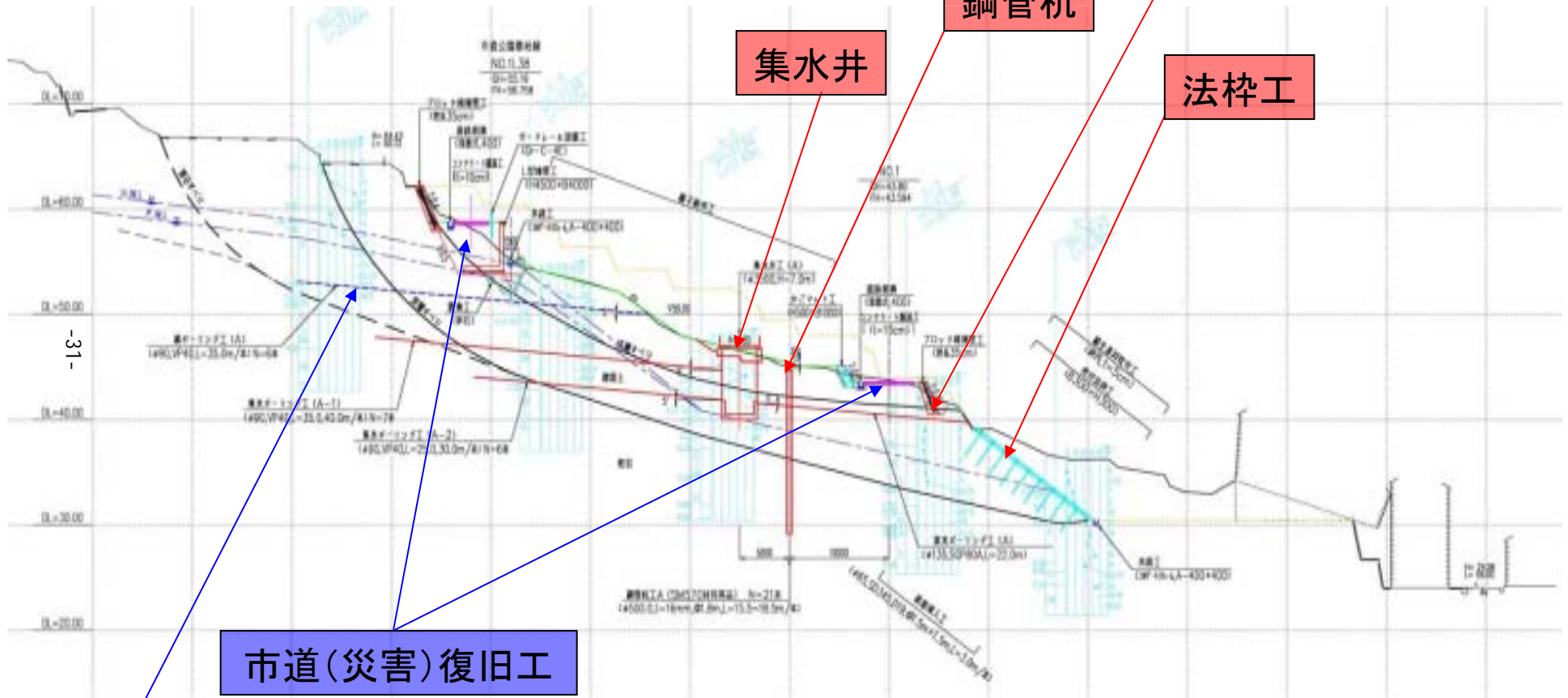
(Aブロック)

排水ボーリング工

鋼管杭

集水井

法枠工



市道(災害)復旧工

排水ボーリング工(市施工)

間人 災害関連緊急地すべり対策 計画平面図

